



Press Release

資料 2

報道関係者各位

平成 24 年 7 月 25 日
青森県立保健大学

国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会

第 2 回学術集会の開催のお知らせ

I. 大会テーマ・目的

大会テーマ：「リンパ浮腫の予防を考えるー具体的行動と課題ー」

目的：リンパ浮腫の予防に関して、①リンパ浮腫患者への適切なサポートにつなげる、②研究成果を発表しあい学びを深める、③患者さん・医療従事者との交流の場・学びの場とする。

II. 日程・プログラム

平成 24 年 8 月 11 日 (土)

9:30~ 受付開始

10:00~12:15

開会 会長講演：木村恵美子「リンパ浮腫のリスクファクターに関する研究」

教育講演：小林範子「リンパ浮腫の予防に対する多角的アプローチ」

特別講演：須釜淳子「The ILF Health Service Evaluation Data-Set (HSEDS) の開発状況」

12:20~14:20: ポスターセッション

14:20~16:00: シンポジウム「予防に関する具体的行動と課題」

シンポジスト：山本優一「理学療法からみるリンパ浮腫の予防」

下山良子「退院指導と悪化予防に関する事例から」

赤石敏子「私たちが予防のためにしてきたこと」

III. 会場

青森県立保健大学 B 棟 1 階 (青森県青森市大字浜館間瀬 58-1)

IV. 参加費

	当日参加	昼食代
会員 (ILFJ)	1,500 円	900 円
非会員	2,000 円	
学生 (大学院生除く)	500 円	



問い合わせ*****

青森県立保健大学 健康科学部 看護学科

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2054 FAX:017-765-2055

担当：小池 小林

国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン

第2回学術集会のご案内

<学術集会メインテーマ>

リンパ浮腫の予防を考える

～具体的行動と課題～



森の写真館

日時：平成24年8月11日（土）

会場：青森県立保健大学 B棟

学術集会長：木村恵美子（青森県立保健大学）

【第2回学術集会事務局】

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学 看護学科（担当：小池祥太郎）

FAX：017-765-2055

E-mail：s_koike@auhw.ac.jp

学会ホームページ：http://www.ilfj.jp/index.html

ご挨拶

今年8月に国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン(ILFJ)第2回学術大会を北の地、青森で開催させていただく役を仰せつかり、若輩ながら準備をさせていただいております。

第1回は吉沢豊代子先生(東北大学大学院)の陣頭指揮のもと、「被災した仙台から改めてこの災害と向き合い、災害時のリンパ浮腫治療とケア、システムとしてのリンパ浮腫患者を支える意味など次につながる医療への発展」を目指し開催されました。

それを継いだ第2回は、

- ・リンパ浮腫指導管理料施行後のその効果・実態が明らかでないこと。
- ・「予防行動」に関するエビデンスの曖昧さ。
- ・未だケアが行き届いていない領域（在宅でのリンパ浮腫ケア、先天性・小児）へのアプローチ。
- ・一定の質を確保したケア提供の問題点（多様な講習会・資格・ケア方法、治療費の格差）。

などリンパ浮腫ケアをめぐる問題が考えられますが、まず、医療者・患者が双方でディスカッションでき、急務であるのは、「予防」ではないかと考えました。

予防のエビデンスはどこまで研究で明らかになっているのでしょうか？ 多くの予防行動は経験的・逸話的なものが土台となっているからエビデンスはない(Purushotham,2009)、乳がん患者のリンパ浮腫のリスクファクターは完全には理解されていない(Soran,2010)と報告があるように世界的に見ても急務な課題であるといえます。

手術・補助療法・日常生活・個人特性と多様な因子がある中で、患者さんはどのような工夫をして日々悪化予防をされており、医療従事者たちが行っている術後の個別指導や予防に関するケアはどれくらいの効果が出ているのでしょうか？

私たちは、分かっているようで実は未だ明らかになっていない部分があるのではないかと思うのです。患者・医療職者双方からのディスカッションを通じて、曖昧な部分が整理され、よりよい治療・ケアに結びつくよう、多くの示唆を得る機会となることを期待しています。

皆様のお越しをお待ちしています。

国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン第2回学術大会長
木村恵美子(青森県立保健大学)

◆学術集会プログラム◆

9:30-10:00	受付
10:00-10:05	1. 国際リンパ浮腫フレームワークジャパン研究協議会発足の経緯と大会のご挨拶 国際リンパ浮腫フレームワークジャパン研究協議会 理事長：真田弘美(東京大学大学院)
10:05-10:45	2. 会長講演 ：リンパ浮腫リスクファクターに関する研究 演者：木村恵美子（青森県立保健大学） 座長：作田裕美（京都大学大学院）
10:50-11:40	3. 教育講演：リンパ浮腫の予防に対する多角的アプローチ 演者：小林範子(北海道大学病院婦人科助教) 座長：奥津文子（滋賀県立大学）
11:45-12:15	4. 特別講演：The ILF Health Service Evaluation Data-Set(HSEDS)の開発状況 演者：須釜淳子(金沢大学)
12:20-14:20	ポスターセッション（交流会）
14:20-15:50 各シンポジスト講演 20分 15:20～ ディスカッション	シンポジウム：「予防に関する具体的行動と課題」 座長：須釜淳子（金沢大学） ：越後雅子（青森県立中央病院） 1. 「理学療法からみるリンパ浮腫の予防」 ：山本優一(北福島医療センター) 2. 「術後の退院前指導と悪化予防に関する事例から」 ：下山良子（十和田市立中央病院） 3. 「私たちが予防のためにしてきたこと」 ：赤石敏子(ほほえみネットワーク会長)
15:50-16:00	閉会の言葉

1. 学術集会の参加申し込み方法

1) 参加費及び昼食代

参加費は以下の通りです。同封の振込取扱票または郵便局備えつけの払込取扱票をご利用の上、下記口座へお振り込みください。事務処理上、事前振り込み期間は平成 24 年 7 月 20 日（金）までとなります。受付の煩雑さを防ぐため事前申込をお願い致します。

なお、参加費には昼食代は含まれていません。事前申込みにて、900 円で昼食（お茶付）をご用意致します。一般演題をランチオンセッションとして示説で実施しますので、活発な討議のためにも、ご自分で昼食を用意されるか、事前申込でお弁当を希望いただくことを望みます。

	事前申込（7/20 まで）	当日参加	昼食代
会員（ILFJ）	1,000 円	1,500 円	900 円
非会員	1,500 円	2,000 円	
学生（大学院生除く）	500 円		

例：会員の方で事前申込みで昼食をご希望された場合は 1,900 円となります

2) 参加費のお振り込み方法

◆学会用の振込取扱票ご利用の場合

記載欄に①ご所属、②ご氏名を記載し、③会員（会員の場合は会員番号を記載）・非会員・学生別、④昼食希望の有無にチェックし、該当する金額をお振り込みください。

◆郵便局備えつけの振込取扱票をご利用の場合

通信欄に①ご所属、②ご氏名、③会員（会員の場合は会員番号を記載）・非会員・学生のいずれか、④昼食希望の有無をご記入し、該当する金額を下記口座までお振り込みください。

（ 郵便振替口座：02230-0-134521
加入者名：ILF ジャパン第 2 回学術集会 ）

※振込金受領書を領収書に代えさせて戴きますので、保管の上当日ご持参ください。

一旦振り込まれました参加費は学会不参加の場合も返却致しません旨、ご了承ください。

2. 一般演題の募集

研究発表および実践報告の一般演題を募集します。発表形式は示説（ポスター）です。リンパ浮腫に関連することであれば、テーマは問いません。皆様からの積極的なご応募をお待ちしています。

なお、発表内容は未発表のものに限ります。演題数が多い場合は、発表の採否の最終決定は事務局で致します。採否については、事務局から発表筆頭者へ連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

- ・ポスターの展示時間は受付開始後～閉会式までです。

発表者は12：00までにポスター前に待機し、発表時間内は参加者からの質問等に応じてください。座長等の進行役はおりません。この時間は昼食時間にもあたりますので、発表者は適宜昼食をお取りください。

- ・ポスターは、横90cm、縦150cmです。受付でポスターを貼る位置番号をお伝えしますので、それに従ってください。

3. 示説発表の申込み方法

*発表申込み用紙に必要事項を記入し、抄録原稿作成の手引きに従って作成した抄録原稿とともに、平成23年7月5日（木）必着で事務局にメールでご提出ください。その際には、個人情報を十分にご配慮くださいますようお願い致します。

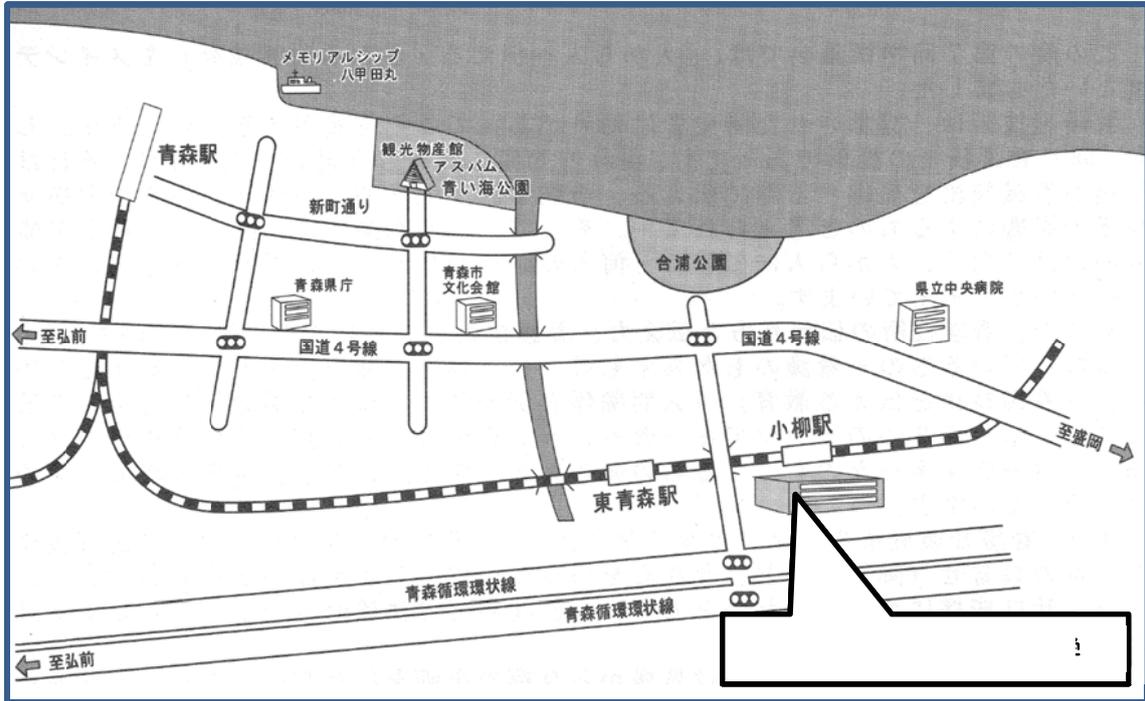
*発表申込み用紙、抄録原稿作成の手引き、抄録フォーマットは学会HP（国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン懇話会）からもダウンロードできます。

国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン懇話会

<http://www.ilfj.jp/index.html>

発表者はこの会の会員に限ります

4. 会場



青森大学
利用

◆交通のご案内◆

●青森市まで

1. JR 東京駅から新青森駅まで約 3 時間 30 分（東北新幹線「はやて」）
2. 飛行機：札幌便、東京便、名古屋便、大阪便

●青森市内から会場まで

1. 新青森駅から約 10 km

- ①電車 新青森駅→青森駅（JR 奥羽線 約 6 分）→東青森駅（青い森鉄道 約 5 分 370 円）
- ②市営バス 新青森駅→青森駅（約 20 分 300 円）→県立保健大学（約 20 分 340 円）
- ③タクシー（約 25 分 約 3,200 円）。

2. 青森駅から約 7 km

- ①青い森鉄道 青森駅→東青森駅（約 5 分 250 円）
- ②市営バス 青森駅→県立保健大学（約 20 分 340 円）戸山団地・沢山線
- ③タクシー（約 15 分 約 2,500 円）。

3. 小柳駅・東青森駅から約 1 km（徒歩で約 10 分）

4. 青森空港から約 15 km

- ①タクシー（約 30～40 分 4,500 円）。
- ②青森空港―青森駅間の空港シャトルバス（約 35 分 560 円）
青森駅から上記 2-①・②・③のいずれかの方法で会場へ。

学会情報

国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン懇話会

<http://www.ilfj.jp/index.html>

国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン 研究協議会第2回学術集会

INTERNATIONAL LYMPHOEDEMA FRAMEWORK JAPAN

テーマ:リンパ浮腫の予防を考えるー具体的行動と課題ー

日時:2012年8月11日(土) 10:00~16:00

会場:青森県立保健大学

学術集会長:木村恵美子

青森県立保健大学 健康科学部 看護学科

会長講演: リンパ浮腫のリスクファクターに関する研究

演者:木村恵美子(青森県立保健大学)

座長:作田裕美 (京都大学大学院)

教育講演:リンパ浮腫の予防に対する多角的アプローチ

演者:小林範子 (北海道大学病院婦人科 助教)

座長:奥津文子 (滋賀県立大学)

特別講演:The ILF Health Service Evaluation Data-Set(HSEDS)の開発状況

演者:須釜淳子 (金沢大学)

シンポジウム:予防に関する具体的行動と課題

座長:須釜淳子 (金沢大学)

越後雅子 (青森県立中央病院)

シンポジスト:

理学療法からみるリンパ浮腫の予防……山本優一(北福島医療センター)

退院指導と悪化予防に関する事例から…下山良子(十和田市立中央病院)

私たちが予防のためにしてきたこと……赤石敏子(ほほえみネットワーク会長)

参加費について

	当日参加
会員(ILFJ)	1,500円
非会員	2,000円
学生(大学院生除く)	500円

一般公開しておりますので皆様お気軽にお越しください。

事前申込みの際は、振込先等をお知らせしますので、

事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局】〒030-8505 青森市浜館字間瀬58-1

青森県立保健大学看護学科基礎看護学領域 (担当:小池)

問合せ先:E-mail s_koike@auhw.ac.jp Fax 017-765-2055

学会ホームページ:http://www.ilfj.jp/index.html